

令和6年度 第2回嘉麻市中小企業振興審議会 会議録

1 審議会等の名称

令和6年度第2回嘉麻市中小企業振興審議会

2 開催日時

令和7年1月21日（火） 13時30分～14時50分

3 開催場所

嘉麻市役所本庁 5階 委員会室1

4 公開、非公開または一部非公開の別

公開

5 非公開または一部非公開の場合にあっては、その理由

—

6 出席者

日高 健 委員（会長）、満保 賢二 委員（副会長）、林田 史朗 委員、  
嶋田 尋美 委員、立石 研司 委員、吉安 勝行 委員、  
大田 岱次 委員、俣野 泰司 委員、中村 瑠梨 委員

（事務局）

嘉麻市産業振興課長 中島 栄治、産業振興課 課長補佐 岩屋 剛  
企業誘致係長 尾籠 拓自、商工係 児玉、中嶋

（欠席者）

中村 博美 委員、大野 繁治 委員、益田 裕子 委員

7 傍聴人数

—

8 議題及び審議の内容

- (1) デジタル化に関するアンケート調査報告書（答申関連資料）
- (2) 嘉麻市第2次中小企業振興基本計画進捗状況（令和5年度）
- (3) 今後のスケジュール
- (4) その他

## 議事

### (1) デジタル化に関するアンケート調査報告書（答申関連資料）

- （事務局） ・このアンケート調査報告書（答申関連資料）について、本日、委員の皆さまの了承を得られましたら、次回答申の添付資料として整理させていただく。又、この報告書の取扱いについては、答申を経て、市のHPでの公表や事業者向け研修会等での活用を検討している。
- ・前回会議からの修正点及び目標値の設定について、改めて説明。
- （委員） ・9項の結論に係る文章の末が「〇〇が有効ではないかと考えられます。」と修正されているが、その理由は何か。
- （事務局） ・この報告書については、当時審議会の答申資料としての活用を想定しておらず、市の施策に活用するための報告書として想定していたため、結論部分を断定的な書き方にしていた。しかし、審議会において、市へ答申する際の添付資料として、本報告書を活用してはどうかとの提言を受けたため、文末を修正した。
- （委員） ・結論として、いくつか記載されているが、何が有効であるかは会社によって違うと思う。私は色々な会社の人と話す機会があるが、一番の課題は人手不足。お金もない現状で、デジタル人材等の雇用の促進は難しい。会社としては新たなものというよりは、今あるもので考えないといけない。デジタル化とは効率化であるため、まずは、中小企業の方々に効率化するためのやる気を与えないといけない。
- ・結論の書き方について、もう少し中小企業の方々にとって分かりやすいようにしてはどうか。各会社ができることを記載してほしいと思う。

( 委 員 ) ・雇用の促進や外部人材の派遣といったことが現実味がないのであれば、もっと従業員の成長を促すような取組に関する書き方が良いのではないかと。

( 会 長 ) ・中小企業の方々が分かりやすいような施策、誰が何をするのかを分かるようにしてほしいといった提言にするのか。また、この部分をもっと具体的にしてほしいといった提言等もあり得ると思う。表現は考えないといけないが、そのような体裁にしてほしいといった意見ですね。

## (2) 嘉麻市第2次中小企業振興基本計画進捗状況（令和5年度）

( 事 務 局 ) 【6つの方針に係る推進する各施策及び指標に対する実績等について説明】

( 委 員 ) ・各施策に関する設定している目標に対して、超過達成したものや、反対に全く達成できなかったものについて、必ず理由があるかと思しますので、その分析をしたうえで、毎年度の点検・評価を行うのが良い。

( 会 長 ) ・その考えでいうと、「事業計画の策定事業者数」が目標に対して、かなり多い実績となっているが、この理由は何かあるのか。

( 委 員 ) ・この計画の目標設定の際に私がいなかったため、何とも言えないが、国や県の補助金を申請する際に、必ず事業計画を策定しますし、融資を受ける際にも事業計画は必要。その数を積み上げていくと、当然このぐらいの数字になると思う。又、コロナの関係で申請する補助金が増えたのも要因として考えられる。

( 会 長 ) ・いずれにしても実績が大幅に達成できているもの、そうでないものについては調べておく必要がある。

(事務局) ・再度お調べして、整理させていただく。

(会長) ・「市内中小企業の公共事業受給率」については、未着手とのことだが、指標設定の見込みはいつか。

(事務局) ・令和7年度審議会までに内容精査し、報告させていただきたい。

(委員) ・福岡県で、県内の中小企業等に対して、どのくらい発注したかなどの調査を毎年行っており、四半期毎に報告していたと思う。発注率の目標が高かったが、そのあたりを参考にしているかどうか。

(会長) ・インターンシップ生受け入れ件数が0件だが、あまり対象の学生等がないのか。

(事務局) ・学生の受け入れが少ないといったことは事業者様から聞いている。又、実際に受け入れをしている企業もあるかと思いますが、市において把握することが難しいといった課題がある。又、誘致企業振興会においても、インターンシップの取組を推進すべきとのご意見をいただいているので、今後実績があがれば、報告させていただく。

(会長) ・インターンシップ協議会の取組等も参考に取組んでいただければと思う。

(事務局) ・協議会とも適宜意見交換をしているので、引き続き取り組んでいく。

( 会 長 ) ・その他意見がなければ、後ほどお気づきの点等ありましたら、事務局までよろしくをお願いします。

### (3) 今後のスケジュールについて

( 事 務 局 ) ・2月中に正副会長と打合せをし、答申書の案を作成、できあがったものを各委員へメール等で確認していただく。その後、3月に答申を行うスケジュール感であることを説明。又、令和7年度のスケジュールについても説明。

( 会 長 ) ・現行の計画が有効的に機能するためにポイントを絞って答申を出したいと考えているため、2月中に案の確認等、ご協力をお願いしたいと思う。

・今回確定するアンケート調査報告書については、市内の中小企業の皆さまを対象にセミナー等の中で、共有を図ることとなっている。調査報告書の報告会のやり方についてですが、近畿大学の教員にデジタル化の推進を担当している者がいるため、そちらに基調講演をしていただくとか、飯塚、嘉麻でデジタル化を推進している企業の方に話をさせていただくなど、何か市内事業者の方のモチベーションがあがるような取組を検討したいと思う。セミナー等を実施するにあたり、関係団体の皆さまに照会させていただくことは可能か。

### 【異議なし】

( 会 長 ) ・具体的な案については次回の審議会で提示いただけるか。

( 事 務 局 ) ・検討し、進捗について次回の審議会で報告させていただく。

#### (4) その他

( 委 員 ) ・デジタル戦略課の取組と、中小企業のデジタル化の推進との整合性をとりながら、進めていただきたいと思います。

( 会 長 ) ・事前協議の中でもその話がでた。当然、デジタル戦略課とも連携し取組んでいかなければならない。場合によってはこの審議会に出席いただいても良いと思う。

次回開催：令和7年3月予定